



六和少年の民間伝承

昔、钱塘江にはとても凶暴な龍王がいて、しばしば大風を吹かせて、高波を立て、漁船を翻弄し、家や田を水没させて、人々を困らせていました。漁師の子供「六和」少年は、父親が波にさらわれて死に、母親は龍王に連れ去られてしまいました。六和は悲しみと憤りで、钱塘江に毎日石を投げ込み続けました。それが、龍王の住まう水晶宮を激

しくゆさぶり続けたので、ついに龍王は降参して許しを請いました。龍王は金銀財宝を六和に差し出し、和解をしようとした。六和は龍王の申し出に、「母を帰すこと、そしてこれからは人々に害を及ぼさないこと」を条件に龍王を許しました。龍王は六和との約束を守り、以来、钱塘江は再び溢れることは無くなり、人々は安心して暮らすことが

出来るようになったのです。のちに、六和に感謝した人々が、彼が積み上げた石の小山に六和をたたえて塔を建てました。これが六和塔の由来といわれています。

この様に六和少年の民間伝承と、哪吒の説話は非常に似ています。この様な竜退治の説話は中国には沢山あるのですが、この民間伝承は哪吒の説話から影響を受けたのかもしれない。また反対に、六和少年の民間伝承を元に、哪吒の説話が生まれた可能性もあるのです。

六和塔の前には、石を持ち、波の上で彼方をにらみつけている六和少年の石像がありま。古に思いを馳せながら、杭州に行かれた時は、是非お立ち寄り下さい。

六和塔住所 杭州市之江路16号、電話 & FAX 0571-86591140
1、営業6時~18時半 無休、入場料20元 塔内入場別途10元
(写真撮影2002年11月)

钱塘江全景



六和鎮江

在浙江杭州钱塘江里有一座塔，塔名叫六和塔，相传是唐高宗李治皇帝在位时，钱塘江经常发大水，淹没农田，冲毁房屋，人们为了祈求平安，就在钱塘江边的山上建了一座塔，这就是六和塔。

LEUNG ALLESTON
-the Epitaph of the Noble of the Sixiang-
-Lishi Pagoda from the Great Sea-

The story goes that in ancient times there was the famous Dragon King in the Qiantang River. He did many things, and once he did it to punish fishing boats and caused a great loss. The father of a boy named Liuhe, the Dragon King, was killed by the dragon king. The boy was very sad and he decided to build a pagoda to pray for his father's soul. The Dragon King heard of this and he was very angry. He decided to punish the boy and his father. The Dragon King said to the boy, 'If you build a pagoda for me, I will let your father live. If you do not, I will let your father die.' The boy built a pagoda for his father and the Dragon King let his father live. The pagoda was named Liuhe Pagoda.

中国文字博物馆编

六和塔全景

六和少年の民間伝承の解説